

”笑顔で元気、ともに歩むまちづくり” にむけて

まちづくり5つの約束【数値目標】(平成26年度～29年度)

(平成26年度 実績)

(平成27年度 実績)

(平成28年度 実績)

(平成29年度 実績)



1 **笑顔のあふれるまちづくり** (子育て・健康・福祉)



2 **元気の出るまちづくり** (農林水産・商工・観光)



3 **心豊かなまちづくり** (教育・スポーツ・文化)



4 **優しいまちづくり** (安心安全・環境・人権・公共交通)



5 **ともに歩むまちづくり** (町民・協働・財政)

八頭町長
平成30年6月



1.笑顔のあふれるまちづくり（子育て・健康・福祉）

○子育て支援の充実を図り、次世代の育成を支援します。

○保健、福祉、医療の連携による健康づくりを推進します。

○高齢者の生きがいづくりと地域で支えあう福祉を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
子育て支援	保育所の再編・整備	郡家、船岡、八東地域にそれぞれ1施設ずつ、新たな保育所3施設の整備を行います。	効率的で、子育てニーズに対応した保育が実施できるようになります。	平成25年度 郡家東保育所 測量設計 用地買収 平成26年度 郡家東小学校付近に郡家東保育所建設 平成27年度 船岡地域統合保育所 測量設計 平成28年度 船岡地域統合保育所 建設 平成29年度 八東地域統合保育所 測量設計	平成26年度 郡家東保育所建設 平成27年4月1日に開所(定員160名) 平成27年度 船岡地域統合保育所 測量・実施設計(定員120名) 平成28年度 船岡保育所(船岡地域統合)建設 平成29年4月1日に開所 平成29年度 (仮称)八東保育所実施設計	郡家東保育所及び船岡保育所の新築実績を参考により良い保育環境整備を目指し(仮称)八東保育所の実施設計を進めた。	平成28年度までに2施設の整備を行う。29年度残り1施設の用地買収及び設計、造成	福祉環境課 H29～ 町民課
	多様な保育サービスの提供	郡家保育所付近に病児保育所を整備します。	子育て環境の充実が図られます。	平成25年度 造成 26年度 協議 ～28年度 協議 29年度 整備	平成26年度 検討 平成27年度 検討・協議 平成28年度 検討・協議	平成29年7月より鳥取市の病児保育施設2か所で広域利用による病児保育事業を開始	平成29年度までに1箇所整備	福祉環境課 H29～ 町民課
	保育料の軽減	保育料の軽減を行います。	少子化、人口減少にある八頭町において、保育料の軽減により、子どもを生き、育てやすい環境づくりの推進が図られます。	これまで実施している補助制度に加え、県の中山間地域モデル事業等を検討	平成26年度 検討 平成27年度 実施 (第3子以降保育料無料化) 平成28年度 実施 (第2子以降保育料無料化) 平成29年度 実施 (第2子以降保育料無料化)	中山間地域モデル化事業を活用し、第2子以降保育料無償化を実施。(私立幼稚園、森のようちえんを含む)	生き、育てやすい環境づくりの整備	福祉環境課 H29～ 町民課
	子育て環境の充実	拠点となるセンターを整備し、効率的に運営します。拠点以外の地域は、出張子育て支援センターで行います。	効果的な運営が可能になり、子育てのニーズに対応できます。	平成25年度 3箇所 26年度 協議・検討 27年度 1箇所整備 (既存施設の改修整備)	平成26年度 検討 平成27年度10月より開設 (旧大御門保育所)	実施済み	町内に1箇所の子育て支援拠点センターを整備	福祉環境課 H29～ 町民課

1.笑顔のあふれるまちづくり (子育て・健康・福祉)

○子育て支援の充実を図り、次世代の育成を支援します。

○保健、福祉、医療の連携による健康づくりを推進します。

○高齢者の生きがいづくりと地域で支えあう福祉を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び年次目標 ()は年あたり	実績	平成29年度取組状況及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課	
福祉	生活困窮者の自立支援	総合相談窓口を設置します。 (自立相談支援事業・国庫3/4) (福祉事務所設置町村必須事業) (社協、NPOへの委託も可) 稼働年齢層の生活保護受給の長期化を防ぐとともに、高齢や障がい、孤立等による生活困窮者の日常生活の自立、社会的自立を支援します。	生活保護受給に至る前のセーフティネット機能の充実が図られます。	平成27年4月1日開設に向けて福祉保健関係機関による検討を開始	自立相談支援事業を町社協へ委託。 平成27年4月1日、町社協は、専任の相談支援員を配置し、「福祉相談窓口」を開設。 なお、就労支援については、被保護者就労支援事業、被保護者及び生活困窮者就労準備支援事業を東部4町共同でNPO法人ワーカーズコープへ委託。	福祉総合相談窓口 【相談件数】50件 【支援プラン作成件数】6件 【就労支援件数】3件 【推進会議】1回開催 【支援調整会議】3回開催 【支援調整担当者会議】5回開催 【課題】支援調整担当者会議を開催することにより、各関係機関からの情報提供数が増えたが実際に支援につながった困窮者は少なかった。今後は関係機関と連携し支援開始に向け努める。	平成27年4月1日開始	福祉事務所 H29～ 福祉課	
		障がい者支援活動の啓発、障がい者福祉団体の運営支援を行います。	障がい者支援活動の啓発によりみんなが住みよいまちづくりにつながります。	平成25年度 4団体/年 26年度 4団体/年 27年度 4団体/年 28年度 4団体/年 29年度 4団体/年	平成26年度 4団体を支援 平成27年度 4団体を支援 平成28年度 4団体を支援 平成29年度 4団体を支援	引き続き、各団体の活動支援をしていくとともに、新規加入の促進を図る。	毎年、4団体を支援	保健課 H28～ 福祉事務所 H29～ 福祉課	
		八東地域に作業所設立の支援を行います。	障がい者の自立支援促進が図られます。	1箇所	平成28年度 1箇所	引き続き、八東地域に2箇所目の福祉作業所の開設を目指します。	福祉作業所(八東地域)の設立	保健課 H28～ 福祉事務所 H29～ 福祉課	
		障がい者支援	総会、研修会等へ出向き、障がいのある方へ情報提供を行います。	情報の共有により障がいのある方の安心な生活が確保できます。	平成25年度 5回/年 26年度 8回/年 27年度 10回/年 28年度 10回/年 29年度 10回/年	平成26年度 6回/年 平成27年度 6回/年 平成28年度 6回/年 平成29年度 6回/年	引き続き、積極的に各種団体への情報提供を行う。	各団体への説明会を年10回開催	保健課 H28～ 福祉事務所 H29～ 福祉課
			あいサポーターの養成を推進します。	決め細やかな支援を行ない、障がいのある方との共生が図られます。	平成25年度末 121人(19) 26年度末 140人(20) 27年度末 160人(20) 28年度末 270人(30) 29年度末 300人(30)	平成26年度末 149人(28) 平成27年度末 240人(91) 平成28年度末 277人(37) 平成29年度末 292人(15)	引き続き、積極的に養成研修会の開催を働きかける。	平成29年度末 300人の登録	保健課 H28～ 福祉事務所 H29～ 福祉課
			災害時の障がい者支援登録と運用を実施します。	災害時の支援を円滑に行うことにより、障がいのある方の安心な生活が守られます。	平成25年度末 42人 26年度末 80人(38) 27年度末 160人(80) 28年度末 260人(100) 29年度末 380人(120)	平成26年度末 108人(66) 平成27年度末 187人(79) 平成28年度末 227人(40) 平成29年度末 229人(2)	引き続き、障がい者訪問事業の中で計画的に登録を推進する。また、機会あるごとに登録制度について説明し、登録を推進する。	平成29年度末 380人の登録	福祉環境課 H27～ 保健課 H28～ 福祉事務所 H29～ 福祉課

1.笑顔のあふれるまちづくり（子育て・健康・福祉）

○子育て支援の充実を図り、次世代の育成を支援します。

○保健、福祉、医療の連携による健康づくりを推進します。

○高齢者の生きがいづくりと地域で支えあう福祉を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
健康づくり	検診受診率の向上	<p>○受診勧奨の強化・広報活動の充実</p> <p>○検診受診勧奨ちらしを健康づくり推進委員を通じて全戸配布します。</p> <p>○健康づくり推進委員による各地域ごとのがん検診推進事業(健康教室等)を実施します。</p> <p>○無線放送を活用し、受診勧奨します。</p> <p>○未受診者へ通知を送付し、受診勧奨します。</p> <p>○特定健診対象者(40歳新規対象者・秋頃に未受診者・途中加入者)にがん検診の受診勧奨通知を同封します。</p> <p>○一定の年齢の方にがん検診のクーポン券を配布します。(平成27年度までで終了)</p> <p>○個別がん検診の実施を拡大します。</p> <p>集団検診と個別医療機関検診の受診選択制を実施します。</p>	検診受診率が向上することで、疾病予防、がん等の早期発見、早期治療で、医療費の削減と75歳未満年齢調整死亡率の低下が図られます。	<p>胃がん検診</p> <p>平成25年度末 33%</p> <p>26年度末 40%</p> <p>27年度末 45%</p> <p>28年度末 50%</p> <p>29年度末 50%</p> <p>肺がん検診</p> <p>平成25年度末 44%</p> <p>26年度末 48%</p> <p>27年度末 49%</p> <p>28年度末 50%</p> <p>29年度末 50%</p> <p>大腸がん検診</p> <p>平成25年度末 43%</p> <p>26年度末 47%</p> <p>27年度末 49%</p> <p>28年度末 50%</p> <p>29年度末 50%</p> <p>子宮がん検診</p> <p>平成25年度末 30%</p> <p>26年度末 40%</p> <p>27年度末 45%</p> <p>28年度末 50%</p> <p>29年度末 50%</p> <p>乳がん検診</p> <p>平成25年度末 23%</p> <p>26年度末 23%</p> <p>27年度末 24%</p> <p>28年度末 25%</p> <p>29年度末 50%</p>	<p>平成26年度末 32.3%</p> <p>平成27年度末 33.5%</p> <p>平成28年度末 35.2%</p> <p>平成29年度末 35.2%</p> <p>平成26年度末 45.1%</p> <p>平成27年度末 45.6%</p> <p>平成28年度末 47.5%</p> <p>平成29年度末 46.6%</p> <p>平成26年度末 43.9%</p> <p>平成27年度末 46.8%</p> <p>平成28年度末 45.4%</p> <p>平成29年度末 45.8%</p> <p>平成26年度末 31.0%</p> <p>平成27年度末 29.3%</p> <p>平成28年度末 33.2%</p> <p>平成29年度末 33.1%</p> <p>平成26年度末 22.1%</p> <p>平成27年度末 21.0%</p> <p>平成28年度末 21.8%</p> <p>平成29年度末 21.8%</p>	<p>受診体制選択性を取り入れ、受診しやすい体制づくりに取り組んだ。また、がん予防をテーマにした健康教室の実施、健康づくり推進員と一緒にがん検診啓発活動等を行い、がん検診の重要性等PRした。精密検査未受診者に対して通知・電話勧奨等を行い、適正な受診を促した。女性・若年層の受診率の引き上げが、今後も課題である。</p> <p><参考></p> <p>75歳未満の受診率</p> <p>胃がん(40~74歳)48.0%</p> <p>肺がん(40~74歳)59.6%</p> <p>大腸がん(40~74歳)61.1%</p> <p>子宮がん(20~74歳)54.1%</p> <p>乳がん(40~74歳)37.9%</p>	がん検診受診率50%	保健課
	健康講座の開催	<p>笑いを取り入れた健康講座を開催します。</p>	こころの健康づくりや健康増進等につながります。	<p>平成25年度 1回/年(講座)</p> <p>26年度 1回/年</p> <p>27年度 1回/年</p> <p>28年度 1回/年</p> <p>29年度 1回/年</p>	<p>平成26年度 1回/年</p> <p>平成27年度 1回/年</p> <p>平成28年度 1回/年</p> <p>平成29年度 1回/年</p>	<p>「八頭町原風景ノルディックウォーキング」のテーマで年1回実施。八頭町観光協会と共催で実施し、町内の観光名所を無理なく楽しく、笑いながらウォーキングできる内容で実施した。</p> <p>今後も多くの方に笑顔になってもらえるような内容を検討していく。</p>	笑いを取り入れた健康講座を毎年1回開催	保健課

1.笑顔のあふれるまちづくり（子育て・健康・福祉）

○子育て支援の充実を図り、次世代の育成を支援します。

○保健、福祉、医療の連携による健康づくりを推進します。

○高齢者の生きがいづくりと地域で支えあう福祉を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標（平成30年3月）	担当課
健康づくり	八東プールの利用促進	八東プールの利用者を増やします。 土日の開館利用促進（検討）	健康増進・介護予防と 医療費の抑制につながります。	平成25年度 2,496人/年 26年度 2,058人/年 27年度 2,600人/年 28年度 2,900人/年 29年度 3,000人/年	平成26年度 2,058人/年 平成27年度 2,873人/年 平成28年度 2,595人/年 平成29年度 2,838人/年	水中運動教室の利用者は、2部構成でも多く感じられるくらい増加傾向にある。また、一般の利用者も昨年より増加傾向にあるが、ますますの利用促進を推進する。	利用者 3,000人/年間	保健課

1.笑顔のあふれるまちづくり（子育て・健康・福祉）

○子育て支援の充実を図り、次世代の育成を支援します。

○保健、福祉、医療の連携による健康づくりを推進します。

○高齢者の生きがいづくりと地域で支えあう福祉を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
高齢者の 生きがいづく り	高齢者を対象とした タクシー助成	タクシー利用費を助成します。	交通手段の確保と自分 で外出することで、閉じ こもりを防止し、介護予 防が図られます。	登録者数 平成25年度末 665人 26年度末 728人(63) 27年度末 750人(22) 28年度末 1,100人(118) 29年度末 1,200人(100)	平成26年度末 847人(63) 平成27年度末 982人(135) 平成28年度末 1,126人(144) 平成29年度末 1,260人(134)	交通手段の確保と日常生活の 支援を図る。	登録者数 1,200人	企画課
	ふれあいサロンの充 実	要援護者支援 社会福祉協議会・老人クラブ等と 協力し、独居・高齢者世帯等の見 守り・安否確認体制を整備します。 ふれあいサロンの充実 (対象128団体)	孤独死の防止、地域の 連携・活性化が図られま す。	平成 25年度末 75団体 26年度末 80団体(5) 27年度末 85団体(5) 28年度末 95団体(10) 29年度末 102団体(7)	平成26年度末 76団体(1) 平成27年度末 79団体(3) 平成28年度末 82団体(3) 平成29年度末 74団体(△8)	地区まちづくり委員会との連携 方法と、各サロンの運営者の高 齢化に伴う活動の弱体化、サロ ン数減少の対応が必要である。	平成29年 102団体	保健課 H29～ 福祉課
	地域福祉拠点の整備	地区福祉推進組織の立上げを支 援し、地域福祉拠点を整備しま す。	地域コミュニティの強化 と高齢者の地域生活の 充実が図られます。	平成25年度末 3地区 26年度末 4地区(1) 27年度末 8地区(4) 28年度末 11地区(3) 29年度末 14地区(3)	平成26年度末 7地区(3) 平成27年度末 8地区(1) 平成28年度末 9地区(1) 平成29年度末 9地区(0)	旧大江へき地保育所のバリア フリー等の改修。 船岡地区にまちづくり委員会の 立上げを働きかけているが立 ち上げに至らなかった。	町内全域14地区 (平成28年度末終了)	保健課 H28～ 福祉事務所 H29～ 福祉課
	支え愛マップの作成	支え愛マップを作成します。 対象は集落ごと(128集落)	地域コミュニティの強化 と高齢者の地域生活の 充実が図られます。	平成25年度末 5集落 26年度末 8集落(3) 27年度末 15集落(7) 28年度末 20集落(5) 29年度末 25集落(5)	平成26年度末 10集落(2) 平成27年度末 14集落(4) 平成28年度末 20集落(6) 平成29年度末 22集落(2) ※(H29)2集落がステップアップ事業 を実施	区長会や防災訓練事前打ち合 わせ時など機会あるごとに説 明。 ※平成30年度から社協が行っ ていた福祉マップの提供を取り やめ、マップ作成を促す。	町内全域25集落	保健課 H28～ 福祉事務所 H29～ 福祉課

2.元気の出るまちづくり（農林水産・商工・観光）

○活力ある農林水産業の振興を推進します。

○関係機関と連携し、商工業の活性化を推進します。

○恵まれた自然・資源を活かし、交流人口の拡大を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
農林水産 業の振興	作業道の整備	山林の手入れ促進を図るため、 作業道整備を推進します。	間伐材の搬出と山林整備 が図られます。	(1年間の整備延長) 平成25年度 28.7km 26年度 48.7km(20km) 27年度 68.7km(20km) 28年度 88.7km(20km) 29年度108.7km(20km)	平成26年度末 40.5km(11.8) 平成27年度末 65.8km(25.3) 平成28年度末 74.7km(8.9) 平成29年度末 94.1km(19.4)	潤氏作業同整備は行われて いるが、目標数値には達して いない。次年度以降も作業 同整備を継続する。	(作業道整備) 20km/年の整備を促進 平成29年度末 総延長108.7kmを目標	産業観光課
	集落営農の組織化	集落営農の組織化を図ります。	農地の計画的利用が促 進されます。	平成25年度末 18組織 26年度 19組織(1) 27年度 20組織(1) 28年度 21組織(1) 29年度 22組織(1)	平成26年度末 18組織(0) 平成27年度末 18組織(0) 平成28年度末 18組織(0) 平成29年度末 18組織(0)	今後も継続的に協議を重ね 組織化に努める。	平成29年度までに4組織の集 落営農組織化の実施。 営農法人組織化の拡大と、集落 営農の振興を目指す。	農業委員会 産業観光課
	遊休農地の解消	農地利用状況調査により遊休農地 を把握し、所有者等に対して中間 管理機構への貸出し誘導等を行 い、解消を目指します。	農地の適正管理が図ら れます。	平成25年度末 19.6ha 26年度末 16.6ha(▲3) 27年度末 13.6ha(▲3) 28年度末 10.6ha(▲3) 29年度末 7.6ha(▲3)	平成26年度末18.8ha(▲0.8) 平成27年度末18.5ha(▲0.3) 平成28年度末18.2ha(▲0.3) 平成29年度末18.2ha(0)	耕作放棄地再生事業の終了 により平成29年度について は解消を図ることができな かった。新たな農業委員会 制度を活用することにより引 き続き解消に取り組みたい。	遊休農地 7.6ha	農業委員会 産業観光課
	認定農業者等担い手 の育成及び確保	関係機関等と連携し認定農業 者、特定農業法人を確保します。	農業従事者の確保、農 地の適正管理が図られ ます。	平成25年度末 49経営4法人 26年度末 50経営(1) 5法人(1) 27年度末 51経営(1) 6法人(1) 28年度末 52経営(1) 7法人(1) 29年度末53経営(1) 8法人(1)	平成26年度末41経営(▲8) 0法人(▲4) 平成27年度末31経営(▲10) 0法人(0) 平成28年度末28経営(▲3) 0法人(0) 平成29年度末28経営(0) 0法人(0)	担い手の農地利用意向確認 会議(26条会議)で認定農 業者の営農上でのメリット等 の説明を行った。今年度は 新規申請はなかったが、更 新が2件あった。認定期限満 了に伴う更新を促し、さらなる 認定農業者、特定農業法人 の確保に努める。	認定農業者 53経営 特定農業法人 8法人	農業委員会 産業観光課
	農地の利用集積	貸し手、借り手の意向等の情報収 集を行い、中間管理事業への誘 導、担い手の紹介など効率的な利 用集積を行います。	農業経営の安定、農地 の適正管理が図られま す。	平成25年度末 621ha 26年度末 641ha(20) 27年度末 661ha(20) 28年度末 681ha(20) 29年度末 701ha(20)	平成26年度末 698ha(77) 平成27年度末 773ha(75) 平成28年度末 767ha(▲6) 平成29年度末 814ha(47)	農地中間管理事業の取組に より、目標に向け集積は進ん でいる。今後も中間管理事 業、利用権設定の周知を行う とともに受け手となる担い手、 集落営農組織の育成を図 る。	701haの利用集積	農業委員会 産業観光課

2.元気の出るまちづくり（農林水産・商工・観光）

○活力ある農林水産業の振興を推進します。

○関係機関と連携し、商工業の活性化を推進します。

○恵まれた自然・資源を活かし、交流人口の拡大を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標（平成30年3月）	担当課
農林水産 業の振興	有害鳥獣侵入防止柵 設置推進	中山間地の農地を有害鳥獣から 守るため、侵入防止柵の設置を推 進します。特に、集落ぐるみの取組 みを推進します。	有害鳥獣による農作物 被害の軽減が図れます。	平成25年度末 218km 26年度末 223km(5) 27年度末 228km(5) 28年度末 233km(5) 29年度末 238km(5)	平成26年度末 241.5km(23.5) 平成27年度末 281.8km(40.3) 平成28年度末 305.1km(23.3) 平成29年度末 321.6km(16.5)	集団ぐるみでの取組みによ り、防止柵の設置が推進で き、農作物等の被害防止の 軽減を図った。しかし、有害 鳥獣の生息数は減少してお らず、継続的な被害防止の 強化を図る必要がある。	5km/年の設置を推進 平成29年度末 総延長 292kmを目標	産業観光課
	有害鳥獣捕獲用 箱わなの導入	農作物に被害を与える有害鳥獣を 捕獲する捕獲用箱わなの導入を推 進します。		平成25年度末 85基 26年度末 105基(20) 27年度末 125基(20) 28年度末 145基(20) 29年度末 165基(20)	平成26年度末 117基(32) 平成27年度末 148基(31) 平成28年度末 179基(31) 平成29年度末 215基(36)	計画的に箱わなを導入する ことができ、農作物等の被害 防止の軽減を図った。今後も 導入を推進する。	20基/年導入 平成29年度末 165基を目標	産業観光課
	有害鳥獣捕獲者数の 確保	有害鳥獣の個体数を減らすため、 新規狩猟免許取得者に対し取得 経費を補助することにより、有害鳥 獣捕獲者の確保に努めます。		平成25年度末 79人 26年度末 89人(10) 27年度末 99人(10) 28年度末 109人(10) 29年度末 119人(10)	平成26年度末 92人(13) 平成27年度末 108人(16) 平成28年度末 116人(8) 平成29年度末 106人(△10)	猟友会会員の高齢化による 会員減少もあり、今後更なる 新規狩猟者の確保が必要。	10人/年の狩猟免許取得を推 進 平成29年度末 119人を目標	産業観光課

2.元気の出るまちづくり（農林水産・商工・観光）

○活力ある農林水産業の振興を推進します。

○関係機関と連携し、商工業の活性化を推進します。

○恵まれた自然・資源を活かし、交流人口の拡大を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（ ）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標（平成30年3月）	担当課
商工業の活性化	起業活動支援	起業活動を支援します。	新たな雇用が創出されます。	平成25年度末 1件 26年度末 2件(1) 27年度末 3件(1) 28年度末 4件(1) 29年度末 5件(1)	平成26年度末 3件(2) 平成27年度末 6件(3) 平成28年度末 9件(3) 平成29年度末13件(4)	平成29年度は起業家支援補助金を拡充し、4件の起業に対して助成を行った。計画の実施に伴い、他市町、商工団体との情報交換など密に連携することが必要である。	起業を支援し、雇用の確保を図る。（平成29年度末までに5件の起業を目指す。）	産業観光課
	企業誘致	企業誘致を推進します。	新たな雇用が創出されます。	平成25年度末 1件 26年度末 2件(1) 27年度末 3件(1) 28年度末 4件(1) 29年度末 5件(1)	平成26年度末 2件(1) 平成27年度末 2件(0) 平成28年度末 2件(0) 平成29年度末 4件(2)	鳥取市からの進出希望に対応、和歌山県からの進出希望に地元企業と共同で対応し、2件誘致した。継続的に関西事務所、県等と連携しながら相談・対応を図ることが必要である。	企業誘致を推進し、雇用の確保を図る。（平成29年度末までに5件の企業誘致を目指す。）	産業観光課・ 関西事務所
	観光協会の法人化	民間活力の導入を図ります。	地域活力の再生が図られます。	平成25年度 調査研究準備 平成26年度 準備 平成27年度 法人化準備 平成28年度 法人化	平成26年度 準備 平成27年度 準備 平成28年度 準備 平成29年度 準備	他の協議会等が新たにDMOを設立した。今後、事業の棲み分けや役割等を協議しながら、独自に民泊の整備等を進め、旅行業の取得等と合わせて法人化を進めることが必要である。	(法人組織化) 観光協会の法人化	産業観光課
	特産品の販路拡大	特産品等の販路拡大に努めます。	所得の向上と知名度アップが図られます。	関西圏を中心に営業及びイベント等に参加 平成25年度末 10件 平成26年度末 15件(5) 平成27年度末 20件(5) 平成28年度末 25件(5) 平成29年度末 30件(5)	関西圏を中心に営業及びイベント等に参加 平成26年度末 22件(12) 平成27年度末 30件(8) 平成28年度末 37件(7) 平成29年度末 49件(12)	補助を中心に支援を実施。関西圏以外にも幅広く営業、イベントの実施を展開することが必要である。	販路を拡大することにより、所得の向上と知名度アップを図るとともに雇用の創出を目指す。	産業観光課・ 関西事務所
	6次産業化の推進	個別農家を支援し、生産から加工・販売を推進します。	所得の向上が図られます。	平成25年度 約45.0% 26年度末 40.0% 27年度末 32.0% 28年度末 27.0% 29年度末 25.0%	平成26年度末 45.0% 平成27年度末 45.0% 平成28年度末 45.0% 平成29年度末 45.0%	大規模農家・法人による6次産業化の取り組みはあるものの、農業者（個人）の取り組みはほとんどない状況にある。個人農業者が事業化に取り組みうえで、自己資金の負担が大きいこと、販路開拓が難しいことが課題となっている。	(6次産業化) 農産物販売金が50万円未満の農家の割合を減らしていく(約45%を平成29年度末目標で25%を目指す。)	産業観光課

2.元気の出るまちづくり（農林水産・商工・観光）

○活力ある農林水産業の振興を推進します。

○関係機関と連携し、商工業の活性化を推進します。

○恵まれた自然・資源を活かし、交流人口の拡大を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
観光振興	郡家駅周辺整備	郡家駅周辺の整備(県道改良を含む)を行います。	交流・交通の拠点としての機能を高め、観光・情報発信の拠点を整備することで、町全体の活性化が図られます。	平成25年度 設計、契約協定締結 平成26年度 事業実施	完了	-	郡家駅コミュニティセンターの整備	企画課
		郡家駅コミュニティ施設等を活用し誘客を図ります。	町内外からのお客様へ観光情報の提供や、イベントなどで誘客が図られます。	イベント等の回数 平成25年度末 0回 26年度末 0回 27年度末 12回(12) 28年度末 44回(15) 29年度末 59回(15)	平成26年度末 0回 平成27年度末 29回(29) 平成28年度末 63回(34) 平成29年度末 90回(27)	平成29年度の実績は、主催・共催・他団体主催を含め27回。引き続き、他団体主催イベントを増加し多様な取り組みを行い、誘客を図ることが必要である。	観光客及び誘客数の増大を図る。	産業観光課

2.元気の出るまちづくり（農林水産・商工・観光）

○活力ある農林水産業の振興を推進します。

○関係機関と連携し、商工業の活性化を推進します。

○恵まれた自然・資源を活かし、交流人口の拡大を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
連携・交流	移住・定住の促進	移住・定住を促進します。	移住・定住が促進され、 地域の活性化が図られ ます。	平成25年度 2世帯 26年度 4世帯(2) 27年度 6世帯(2) 28年度 8世帯(2) 29年度 10世帯(2)	平成26年度 3世帯(1) 平成27年度 5世帯(2) 平成28年度 11世帯(6) 平成29年度 17世帯(6)	首都圏等での相談会に出展し、移住者呼び込み取組みを推進した。今後も情報提供を行い、移住・定住を促進する。	合計10世帯の定住	地方創生室
		空家への入居者に対する助成制度や住宅を取得した場合の固定資産税の軽減を検討します。		平成25年度 2世帯 26年度 4世帯(2) 27年度 6世帯(2) 28年度 8世帯(2) 29年度 10世帯(2)	平成26年度 4世帯(2) 平成27年度 6世帯(2) 平成28年度 10世帯(4) 平成29年度 16世帯(6)	空き家所有者等による住宅改修助成制度の活用により、移住者受入に係る支援を行った。今後も情報提供を行い、移住・定住を促進する。	合計10世帯の定住	地方創生室
		新たな宅地造成の促進を行い定住を図ります。(民間整備分を含む)		平成27年度課税分から平成29年度課税分までを対象に、住宅を新築した場合の固定資産税を補助	平成27年度 25件(25) 平成28年度 52件(27) 平成29年度 82件(30)	定住人口の増加を図るため、新築住宅取得に伴う固定資産税の補助を行った。今後も情報提供を行い、移住・定住を促進する。	新築住宅 合計80棟	税務課
		民間宅地造成 平成25年度 6区画 26年度 18区画(12) 27年度 30区画(12) 28年度 42区画(12) 29年度 52区画(12)		平成26年度 18区画(12) 平成27年度 25区画(7) 平成28年度 0区画 平成29年度 64区画(39)	郡家地域の民間による宅地造成は増えているが、他地域の宅地造成に民間活力が導入されない課題がある。	宅地造成 52区画(民間)	建設課	
	魅力ある町づくり事業の推進	魅力ある町づくり事業助成を実施します。	魅力ある地域づくり団体が育成されます。	平成25年度 5団体 26年度 10団体(5) 27年度 15団体(5) 28年度 20団体(5) 29年度 20団体(5)	平成26年度 8団体(3) 平成27年度 14団体(6) 平成28年度 21団体(7) 平成29年度 27団体(6)	事業助成を実施し、地域づくりに貢献した。今後も事業を推進する。	合計 20団体の実施	地方創生室
地域おこし協力隊による地域活性化事業	平成25年現在4人の地域おこし協力隊を2人増員し、地域おこしを図ります。 (平成24年度～2人でスタート)	地域おこし、村おこしなど、地場の元気を取り戻し、若者の流入が促進されます。	平成25年度末 4人 平成26年度 4人(0) 平成27年度 6人(2) 平成28年度 6人(0) 平成29年度 6人(0)	平成26年度 4人(0) 平成27年度 6人(2) 平成28年度 6人(0) 平成29年度 4人(0)	平成29年度末で3名の隊員が卒業。そのうち2名は任期中に起業しており、そのまま活動を継続し定住する。1名は県外に就職。卒業後の定住に向けた仕事の確保が課題である。	地域おこし協力隊隊員による集落、地域の活性化を図り、基本は、6人の定着	産業観光課	

2.元気の出るまちづくり（農林水産・商工・観光）

○活力ある農林水産業の振興を推進します。

○関係機関と連携し、商工業の活性化を推進します。

○恵まれた自然・資源を活かし、交流人口の拡大を推進します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（ ）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
連携・交流	国内交流の推進	大阪市住吉区・神戸市長田区・武蔵野市との交流を推進します。	地域間交流による地域振興が図られます。	平成25年度 2地域 26年度 3地域 27年度 2地域 28年度 3地域 29年度 2地域	平成26年度 3地域 平成27年度 2地域 平成28年度 3地域 平成29年度 2地域	大阪市住吉区・神戸市長田区との交流を推進した。今後とも交流を推進する。	3地域実施(武蔵野市は隔年)	地方創生室
	国際交流の推進	交流協定を締結している韓国横城郡と様々な分野での交流を促進します。	国際交流による人材育成と異文化交流により、地域活性化が図られます。	平成25年度 5事業 26年度 6事業 27年度 5事業 28年度 5事業 29年度 5事業	平成26年度 6事業 平成27年度 8事業 平成28年度 4事業 平成29年度 4事業	子ども交流、全国韓牛祭ブース設営、芸能公演団派遣等の事業を実施した。今後とも交流を推進する。	毎年5交流事業の実施	企画課

3.心豊かなまちづくり（教育・スポーツ・文化）

○学校教育環境の充実を図り、スポーツ活動の振興に努めます。

○豊かな人間性を育むまちづくりを推進します。

○先人が築いた誇りを再認識し、文化の継承を支援します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
教育環境と スポーツ	中学校の再編成	中学校を再編成します。	義務教育の充実が図られます。	平成25年度 環境整備 26年度 環境整備	平成26年度 環境整備実施 平成27年4月1日八頭中学校開校 (完了)	—	平成27年4月1日統合中学校 開校	教育委員会
	小学校の再編成	船岡地域、八東地域の小学校を再編成します。	義務教育の充実が図られます。	平成25年度 協議 26年度 協議 27年度 協議 28年度 環境整備	平成26年度 統合に関する準備委員会(1回)の開催 平成27年度 新)八東小学校改修工事設計 平成28年度 新)八東小学校改修工事	統合した船岡小学校と八東小学校に新たにテントを購入した。 八東小学校プールについては、低学年に対応するためプールフロアを購入したが、2コース分のプールフロアが必要。	平成28年度 改修。 平成29年4月1日統合小学校(2校)開校	教育委員会
	オリンピックキャンプ地の誘致	東京オリンピックにおいて、ホッケー競技キャンプ地の誘致に努めます。	町民のホッケー競技への関心が高まるとともに、スポーツをする少年少女の意欲と競技力の向上につながります。	平成26年度 協議 27年度 協議 28年度 協議 29年度 協議 30年度 環境整備	平成26年度 県・県ホッケー協会と協議 平成27年度 県・県ホッケー協会と協議 平成28年度 県・県ホッケー協会と協議 平成29年度 県・県ホッケー協会と協議	誘致国の第1候補をニュージーランドとし、鳥取県、鳥取県ホッケー協会と連携を取りながらニュージーランド関係者に面談するなど誘致に向けた取り組みを行っている。	平成32年東京オリンピック開催 キャンプ地誘致	教育委員会

3.心豊かなまちづくり（教育・スポーツ・文化）

○学校教育環境の充実を図り、スポーツ活動の振興に努めます。

○豊かな人間性を育むまちづくりを推進します。

○先人が築いた誇りを再認識し、文化の継承を支援します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（ ）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
豊かな人間性	図書館の利用促進	「いつでも、どこでも、だれでも」利用できる図書館として、多くの方に利用していただき、おはなし会などの事業を積極的に実施し、利用者数の増加を図ります。	多くの人が、図書館を利用しやすい、環境整備が図られます。	平成25年度利用者 29,200人 26年度末 1%増 29,500人 27年度末 1%増 29,800人 28年度末 1%増 30,100人 29年度末 1%増 30,400人	平成26年度末 28,206人 平成27年度末 26,095人 平成28年度末 25,481人 平成29年度末 20,640人	3館で毎月1回おはなし会等を開催や、「あたまイキイキ音読教室」等出張希望はあるものの、利用者が減少傾向にある。今後も、図書館事業（出前図書館）等で新規利用者の増を図る。	平成29年度末 利用者数 30,400人	図書館

3.心豊かなまちづくり（教育・スポーツ・文化）

○学校教育環境の充実を図り、スポーツ活動の振興に努めます。

○豊かな人間性を育むまちづくりを推進します。

○先人が築いた誇りを再認識し、文化の継承を支援します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標（平成30年3月）	担当課
文化の振興	町民文化祭の開催	平成24年に文化協会を設立しており、役員、各専門部長を中心に芸術・文化の普及振興を図ります。	心の豊かさの向上が図られます。豊かな感性が育まれます。	平成25年度に町民文化祭準備委員会を設置し、26年11月に実施	平成26年11月に八頭町文化祭を開催し、芸能発表を合同開催。 平成27年度は、3地域で公民館祭、芸能発表会を開催。 平成28年度は、3地域で公民館祭、芸能発表会を開催。 平成29年度は、3地域で公民館祭、芸能発表会を開催。	3地域で10月28日～10月29日に公民館祭・芸能発表会を開催した。 参加者は：1,099人	八頭町文化祭として3年ごとを目途に実施するよう、文化協会公民館利用グループと連携し推進する。	公民館
	公民館事業の充実	中央公民館・地区公民館の充実により様々な年代が関われる事業を開催し、地域課題に応じた学習・講座を実施します。	生涯学習を通じて、心豊かな生活、生きがいづくりが育まれます。	平成26年度、公民館を拠点として多様な学習機会や事業を提供します。	多様な学習機会や事業を実施。	住民ニーズに沿った講座等実施し、町民の生涯教育を推進した。これまでの事業を継続しつつ新しいものも取り入れながら事業展開していく。	生涯学習を充実し、身近な学習・交流の場として、生涯学習の振興・豊かな人づくりを推進する。	公民館

3.心豊かなまちづくり（教育・スポーツ・文化）

○学校教育環境の充実を図り、スポーツ活動の振興に努めます。

○豊かな人間性を育むまちづくりを推進します。

○先人が築いた誇りを再認識し、文化の継承を支援します。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標（ ）は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
文化の継承	文化財の掘り起こし	町指定文化財の掘り起こしを行います。	地域文化の再発見と文化の振興が図られます。	町指定文化財 平成25年度現在56件。 指定文化財の積極的な掘り起こしを行い、随時、登録を行う。	平成26年度現在 56件。 平成27年度現在 56件。 平成28年度現在 57件。 平成29年度現在 56件。	福本70号墳出土遺物が鳥取県指定保護文化財となった。これに機に福本70号墳出土遺物展示会を開催した。埋蔵文化財の試掘調査を行った。今後も積極的な指定文化財の掘り起こしを行う。	指定文化財の積極的な掘り起こし、登録に努める。	教育委員会
	郷土芸能の維持・復活	地域の郷土芸能の復活や維持を支援します。	地域文化の再発見と文化の振興が図られます。	地域に伝わる伝統芸能や、郷土芸能などを掘り起こし、復活、また維持のための支援を行う。	平成26年度 なし 平成27年度 なし 平成28年度 なし 平成29年度 なし	因幡麒麟獅子舞の会へのさらなる加入への支援を行った。今後も郷土芸能の復活等に努める。	地域に伝わる伝統芸能や、郷土芸能など、復活また維持のため、支援を継続的に行う。	教育委員会

4. 優しいまちづくり (安心安全・環境・人権・公共交通)

○防災体制の充実を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

○環境保全に努め、循環型社会への対応を推進します。

○差別解消に向け、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。

○町民の利便性を図るため、若桜鉄道、町営バスなどの公共交通の確保に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び年次目標 ()は年あたり	実績	平成29年度取組状況及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
防災体制の充実	防災体制の整備	防災訓練の実施及び災害時要援護者の避難支援等の充実を図ります。	初動訓練の実施により、被害を最小限に食い止めるとともに、地域住民の防災意識の高揚が図られます。	平成25年度末 0% 26年度末 80% 27年度末 85% 28年度末 90% 29年度末 95%	平成26年度末 80.6% 平成27年度末 83.1% 平成28年度末 95.3% 平成29年度末 99.2%	行政区における訓練実施は、要配慮者相談窓口設置、避難支援器具を用いるなどを行い、実施率は目標数値に達する。また住民の防災・減災に対する意識の高揚また技術の普及が図られた。また今後は、旧小学校区単位などによる広域避難及び避難所運営訓練を推進する。	行政区における、防災訓練実施率95%	防災室
	防災マップ・地震ハザードマップの改正	防災マップ・地震ハザードマップを見直し、作成します。	災害時に住民を安全かつ迅速に避難させる体制の整備が図られます。	平成19年度末 作成 26年度末 見直し作成 27年度末 全戸配布 28～29年度 見直しにおける資料収集及び改訂版案の検討	平成26年度 鳥取県との連携により、レッド及びイエロー区域の指定を進めた。また、広域避難場所の見直しを行った。 平成27年度 指定緊急避難場所、指定避難所等の見直しを行い、全戸配布を行った。 平成28年度 国土交通省及び県と浸水想定区域の意見交換を行った。 平成29年度 県管理河川の浸水想定区域見直し作業について協議を行った。	平成30年度マップ改訂に向け、県管理河川減災対策協議会において浸水想定区域見直しについて協議を行った。	ハザードマップを活用した避難訓練の実施	防災室
	情報収集設備の整備	指定緊急避難所・指定避難場所における情報収集アンテナ等を整備し受診可能とします。 56箇所(うちグラウンド、広場15箇所除く)→テレビ設置可能避難施設41箇所	避難所において、迅速かつ的確な情報収集が図られます。	平成25年度迄31施設 26年度 36施設(5) 27年度 39施設(3) 28年度 38施設(2) 29年度 41施設(3) 設置率100%	平成26年度 35施設(4) 平成27年度 36施設(1) 設置率87.8% 平成28年度 36施設(0) 5施設の状況把握に努めた。 平成29年度 36施設(0)整備済	上私都活性化施設、県国民体育館、旧八東小学校体育館、旧安部小学校体育館の4施設について、電波状態が悪いのでケーブル配線工事が必要とするため引き続き検討を行う。	避難所における、物資等の整備に努めるとともに、通信設備の整備を進める。また福祉施設避難所の指定を行う。	防災室

4.優しいまちづくり (安心安全・環境・人権・公共交通)

○防災体制の充実を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

○環境保全に努め、循環型社会への対応を推進します。

○差別解消に向け、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。

○町民の利便性を図るため、若桜鉄道、町営バスなどの公共交通の確保に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標 ()は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
防災体制の 充実	水道老朽管更新、処 理施設統合	施設長寿命化・更新計画の作成で の水道老朽管更新、処理施設統 合を進めます。	安定供給・処理での防 災体制強化及び、耐震 化並びに水道有収率の 向上が図られます。	平成25年度:計画作成 水道管路300m、 集排施設統合 (野町・破岩) 26年度:水道管路300m、 集排施設統合(新庄) 27年度:水道管路300m 28年度:水道管路300m 29年度:水道管路300m	平成26年度:水道管路 281m (うち坂田65m、上町65m、船岡151 m) 平成27年度:水道管路 673m (うち横田 369m、船岡 304m) 平成28年度:水道管路 685m (うち横田394m、船岡226m、花65 m) 平成29年度:水道管路385m(横 田)、丹比系水源整備(送水管482 m:繰越)、郡家浄化センター更新(汚 泥脱水機更新 1基:繰越)、施設統 合(下水道整備構想策定 1式)	老朽化が著しく維持管理が 困難な個所を選定し、水道管 の更新を行い、有収率の向 上を図るとともに、安定した水 の供給を図るため、八東丹比 系水源の整備を実施した。 処理施設の統合について、 下水道整備構想の策定を実 施し、施設統合に向けての検 討を実施した。また、処理施 設の安定した稼働を確保す るため、汚泥脱水機の更新を 実施した。 今後も順次、水道管の更新・ 下水処理施設の機器更新を 等を進めることとし、施設統合 については、平成30年度に 日下部・安部中央処理区の 統合事業計画書の認可を実 施する。	水道管耐震化率15.0%を 16.0%へ向上、有収率を現在 の84.5%を86.0%にする。農 集施設耐震化率78%を85%に 向上	上下水道課
	公共施設の耐震化	教育施設等の非構造部材(水銀灯 等)の耐震対策を推進します。	安心安全な教育施設の 確保が図られます。	平成25年度 一部実施 26年度 中学校1施設 27年度 小学校8施設 28年度 体育館7施設 29年度 屋内運動場 2施設 ※既に、耐震工事は終了しており、改 修等が必要なものは、随時、対応して いく。	平成26年度 非構造部分の一部改修 1箇所(中央 中学校ランチルーム) 郡家西小学校 水銀灯 1基 平成27年度 該当なし 平成28年度 該当なし 平成29年度 該当なし	既に耐震工事は終了してお り、必要に応じて対応してい く。	小中学校、社会体育施設計18 箇所の非構造部材の耐震対策 を実施	教育委員会
	公共施設の耐震化	未実施施設の耐震診断と、耐震化 を実施します。	安心安全な公共施設の 整備が図られます。	平成26年度調査6施設 27年度以降耐震化 事業の実施	平成26年度 調査なし 平成27年度 調査なし 平成28年度 調査なし 平成29年度 調査なし	児童館については、子育て 施策全体の中で、施設の統 廃合も含めて検討中である。	町内公共施設の耐震診断の完 了と、耐震基準を満たしていな い施設の耐震化の実施	人権推進課 中央人権啓 発センター

4. 優しいまちづくり (安心安全・環境・人権・公共交通)

○防災体制の充実を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

○環境保全に努め、循環型社会への対応を推進します。

○差別解消に向け、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。

○町民の利便性を図るため、若桜鉄道、町営バスなどの公共交通の確保に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標 ()は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
防災体制の 充実	生活道整備	道路の改良整備により強い生活基盤を確保します。	活力ある社会形成と安全安心の生活環境の確保が図られます。	(事業費ベース実施率) 平成25年度末 18% 26年度末 26% 27年度末 33% 28年度末 39% 29年度末 44%	平成26年度末 26.4% 平成27年度末 33.7% 平成28年度末 38.3% 平成29年度末 47.0%	新道線、丹比縦貫線、横田1号線等の事業着手 交付金の減により、進捗が伸びない現状にある。	生活道改良(改築修繕)推進 (社会資本整備事業実施分6路線)	建設課
		他の補助制度に該当しない、集落内道路の改良に対する補助を実施します。	生活環境の整備が図られます。	2路線/年間	平成26年度 1路線 平成27年度 なし 平成28年度 なし 平成29年度 なし	集落へ事業周知しているが、要望箇所なし。	軽自動車以上が通行可能な集落内道路とするよう、8路線を改修 (平成32年3月31日限り)	建設課
	橋梁整備	橋梁の改良整備により強い生活基盤を確保します。	活力ある社会形成と安全安心の生活環境の確保が図られます。	(事業費ベース実施率) 平成25年度末 9% 26年度末 31% 27年度末 46% 28年度末 65% 29年度末 77%	平成26年度末 19.7% 平成27年度末 30.5% 平成28年度末 36.3% 平成29年度末 42.7%	国の交付金の削減により、事業の進捗が遅れが生じている。また、まちづくり公約制定時とは異なり、2m以上の橋の長寿命化についても、進める必要がある。	橋梁整備(長寿命化)の推進 (社会資本整備事業実施分16橋)	建設課

4. 優しいまちづくり (安心安全・環境・人権・公共交通)

○防災体制の充実を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

○環境保全に努め、循環型社会への対応を推進します。

○差別解消に向け、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。

○町民の利便性を図るため、若桜鉄道、町営バスなどの公共交通の確保に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標 ()は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
循環型社会 への対応	下水道加入・接続促進	下水道加入・接続促進を行い、環境にやさしいまちづくりを推進します。	公共用水域の水質保全及び地域の生活環境の維持・向上が図られます。	平成25年度末 接続率 91.4% 各年度8件接続 平成26年度末 91.6% 27年度末 91.7% 28年度末 92.9% 29年度末 93.0%	平成26接続件数 24件 接続率 92.02% 平成27接続件数 27件 接続率 92.84% 平成28接続件数 29件 接続率 92.64% 平成29接続件数 33件 接続率 93.22%	住宅の新築・増改築に合わせ、下水道への接続を促進し、環境負荷軽減に努めている。また、小学生の施設見学を実施し、適切な下水道使用と環境意識の高揚に努めている。	平成29年度末 接続率93.0%	上下水道課
	簡易水道の加入促進	簡易水道の加入促進を行うとともに、節水意識の高揚を図り、環境にやさしいまちづくりを推進します。	節水意識の高揚による、環境負荷の軽減が図られます。	平成25年度末 加入率98.44% 平成26年度末 98.6% 27年度末 98.7% 28年度末 98.8% 29年度末 98.9%	平成26年度 98.44% 平成27年度 98.48% 平成28年度 98.55% 平成29年度 98.58%	集落管理の水道から町簡易水道への切替について協議を実施した。(平成30年4月1日より池田集落加入)また、小学生の施設見学を実施し、節水意識の高揚に努めている。	平成29年度末 98.9%	上下水道課
	ごみステーション設置補助制度の推進	路上ごみステーション等の解消のため、ごみステーション設置に対する補助制度を実施します。	環境を改善し、景観が保全されます。	平成25年度 3箇所実施 26年度 5箇所(2) 27年度 7箇所(2) 28年度 25箇所(18)	平成26年度 8箇所 平成27年度 4箇所 平成28年度 5箇所 平成29年度 11箇所	11集落に補助金を交付し、環境改善及び景観保全に努めた。	平成28年度末までに25箇所実施	福祉環境課 H29～ 町民課
	生ゴミのリサイクルの推進	環境教育の充実を行い、生ゴミリサイクル推進事業の拡大を図ります。	循環型社会の促進とごみの減量化、二酸化炭素の削減が図られます。	生ゴミリサイクル実施世帯 平成25年度末 32% 26年度末 33% 27年度末 34% 28年度末 37% 29年度末 38%	平成26年度末 34.07% 平成27年度末 35.54% 平成28年度末 35.62% 平成29年度末 35.62%	平成29年度の新規加入集落は無かったが引き続き加入促進を行いたい。	生ゴミのリサイクル 38%の世帯取り組み	福祉環境課 H29～ 町民課

4.優しいまちづくり (安心安全・環境・人権・公共交通)

○防災体制の充実を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

○環境保全に努め、循環型社会への対応を推進します。

○差別解消に向け、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。

○町民の利便性を図るため、若桜鉄道、町営バスなどの公共交通の確保に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び年次目標 ()は年あたり	実績	平成29年度取組状況及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
循環型社会への対応	可燃ゴミの減量化	古紙回収(2箇月に1回、回収)の実施集落を増やし、可燃ゴミの減量化を図ります。	ごみの減量化、二酸化炭素の削減が図られます。	古紙回収実施集落 平成25年度末 95集落 26年度末 105集落(10) 27年度末 115集落(10) 28年度末 125集落(10) 29年度末 130集落(5)	平成26年度末 95集落 平成27年度末 95集落 平成28年度末 95集落 平成29年度末 92集落	廃棄物処理業者の回収量増により平成21年度をピークに年々減少してきている。PTA等の各種団体や集落の資源回収も考えられるが、今後も継続して収集し、循環型社会の形成に努める。	平成29年度末 130集落	福祉環境課 H29～ 町民課
	環境パトロールの実施	環境パトロールを実施します。	不法投棄の減少が図られます。	平成25年度 月2回 26年度 月3回 27年度 月3回 28年度 月4回 29年度 月4回	平成26年度 月3回 平成27年度 月3回 平成28年度 月4回 平成29年度 月4回	2人の環境美化推進員が月に4回町内をパトロールし、不法投棄物を回収し環境美化を図った。	週1回パトロールの実施	福祉環境課 H29～ 町民課

4. 優しいまちづくり (安心安全・環境・人権・公共交通)

○防災体制の充実を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

○環境保全に努め、循環型社会への対応を推進します。

○差別解消に向け、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。

○町民の利便性を図るため、若桜鉄道、町営バスなどの公共交通の確保に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び 年次目標 ()は年あたり	実績	平成29年度取組状況 及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
人権尊重	人権同和問題の啓発	部落学習会参加率(世帯)の増加を図ります。	町全体で差別解消に向けた学習会の取り組みが促進できます。	平成25年度末 37.1% 26年度末 40% 27年度末 42% 28年度末 45% 29年度末 50%	平成26年度末 36.9% 平成27年度末 35.9% 平成28年度末 38.1% 平成29年度末 36.2%	人権問題学習会の教材はもとより、時間配分や話し合いのルールなど、社会教育委員会等で時間をかけて学習方法を検討し、地区人推事務局長会議でも、参加呼びかけの工夫を話し合うなどしたが、未実施に終わった集落が数集落ある。 今後更なる地区人推との連携に努め、全集落での開催と参加率向上に努めたい。	平成29年度 50%	人権推進課
		同和問題講演会の初参加者数の増加を図ります。	人権同和問題の学習者のすそ野を広げることができます。	平成25年度末 18人 26年度末 25人(7) 27年度末 30人(5) 28年度末 35人(5) 29年度末 40人(5)	平成26年度末 32人(14) 平成27年度末 37人(5) 平成28年度末 36人(△1) 平成29年度末 48人(12)	昨年度から人権尊重のまちづくり講演会のテーマ(人権課題)を年次的に決めており、平成29年度は「高齢者の人権」で、幅を少し広げ「若年性認知症」に関する講演を行った。	初心者向けの講演会を開催し、初参加者の増加を図る。	人権推進課
		同和教育指導員の養成を図ります。	部落学習会での指導体制の充実が図られます。	平成25年度末 23人 26年度末 24人(1) 27年度末 26人(2) 28年度末 28人(2) 29年度末 30人(2)	平成26年度末 22人(△1) 平成27年度末 22人(0) 平成28年度末 24人(2) 平成29年度末 28人(4)	昨年「人権啓発推進員」と名称変更し、人権課題全般にわたっての知識、見識が問われる重責と感じられている。今年度は計4回の研修(推進員)会を開催し、学習会に出た問題点、課題等を共通の認識とすることが出来た。	人権啓発推進員(同和教育指導員)の養成を行い、人権問題(部落)学習会の充実を図る。	人権推進課
	男女共同参画社会の実現	各種審議会委員等への女性登用にあたっては、推薦団体へ積極的に働きかけるとともに、女性の公募制の導入促進を図ります。	政策・方針決定過程への女性の参画拡大が図られます。	平成25年度末 42.9% 26年度末 45% 27年度末 48% 28年度末 50% 29年度末 50%	平成26年度末 42.5% 平成27年度末 42.8% 平成28年度末 42.6% 平成29年度末 40.2%	現在41%までの各審議会委員等へ団体推薦による女性登用の働きかけ及び公募制の導入を促進したが後退した。今後も一層各部署各種団体に働きかけていく。先進地視察等リーダー研修を行う。	女性登用率50%	男女共同参画センター 企画課 教育委員会等

4.優しいまちづくり (安心安全・環境・人権・公共交通)

○防災体制の充実を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

○環境保全に努め、循環型社会への対応を推進します。

○差別解消に向け、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。

○町民の利便性を図るため、若桜鉄道、町営バスなどの公共交通の確保に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び年次目標 ()は年あたり	実績	平成29年度取組状況及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
公共交通の維持	若桜鉄道の存続	若桜鉄道の乗車運動等を展開し、地域活性化促進と若桜鉄道の黒字化に努めます。	公共交通機関の維持と地域活性化促進が図られます。	若桜鉄道乗車人数 平成25年度末 41.6万人/年 26年度末 41.6万人/年 27年度末 41.6万人/年 28年度末 41.0万人/年 29年度末 41.0万人/年	平成26年度末 34.6万人/年 平成27年度末 32.5万人/年 平成28年度末 31.0万人/年 平成29年度末 30.1万人/年	○若桜鉄道の既存車両を改装し、観光列車「昭和」として運行を開始するとともに、県内外のメディアへ積極的にPRを展開した。これにより、団体旅行の誘致と周辺観光施設への誘客に寄与した。 ○高校生への通学定期助成制度を継続しており、通学客の確保を図っている。 ○定期輸送人口は減少傾向にあるが、新車両を活用した輸送人口の増加と、観光列車「昭和」の盛り上がりを一過性で終わらせないよう、沿線団体とも引き続き密に連携を図り、交流人口の拡大につなげていく必要がある。	若桜鉄道乗車人員の確保と赤字削減を図る。	企画課
	町営バス路線の維持	交通弱者対策として、町営バスを運行し、町民の移動手段を確保するとともに、交流人口の増加につなげます。		町営バスの利用者 平成25年度末 42,200人/年 26年度末 42,500人/年 27年度末 42,500人/年 28年度末 42,500人/年 29年度末 43,000人/年	平成26年度末 42,000人/年 平成27年度末 44,000人/年 平成28年度末 46,000人/年 平成29年度末 36,000人/年	ミニSL博物館の竣工に伴い、路線を新設、小学校の統廃合に伴い路線の廃止・見直しを行った。 JR等との乗り継ぎ利便性のため、運行時間の見直しを行った。 12月に町報折込により住民アンケートを実施。結果を踏まえ、ダイヤ改正等実施予定。今後も、利用者の利便性向上を図っていく必要がある。	利用者数の増加 43,000人/年	企画課

5.ともに歩むまちづくり（町民・協働・財政）

○町民と行政との情報の共有化を図り、協働によるまちづくりに努めます。

○広報を充実し、積極的な情報公開に努めます。

○町民に分かりやすい行政運営と行財政改革に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び年次目標（ ）は年あたり	実績	平成29年度取組状況及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
情報の共有化	村づくり座談会の開催	村づくり座談会を開催します。		平成25年度末 7集落実施 26年度 希望集落 27年度 希望集落 28年度 希望集落 29年度 希望集落	平成26年度 14集落 平成27年度 1集落5団体 平成28年度 8団体 平成29年度 1集落4団体	希望のあった団体等を対象に、出向いて実施した。(5回、1集落4団体)今後も情報発信を行い対応する。	4年間、希望される集落において実施	総務課
	行政懇談会の開催	情報の共有化を図るため、行政懇談会を開催します。	行政と住民との協働によるまちづくりが推進できます。	平成25年度 実施なし 26年度 14地域/年 27年度 14地域/年 28年度 14地域/年 29年度 14地域/年	平成26年度 14地域/年 平成27年度 14地域/年 平成28年度 14地域/年 平成29年度 14地域/年	平成29年7月10日～8月8日の間、うら町内14会場において、「八頭町総合戦略」、「農林業振興」「健康づくり」「防災」をテーマに開催。参加人数400人	14地域で毎年実施。	総務課

5.ともに歩むまちづくり（町民・協働・財政）

○町民と行政との情報の共有化を図り、協働によるまちづくりに努めます。

○広報を充実し、積極的な情報公開に努めます。

○町民に分かりやすい行政運営と行財政改革に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び年次目標（）は年あたり	実績	平成29年度取組状況及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
広報の充実	町報の充実・町勢要覧の作成	町報の充実を図るとともに、町勢要覧を作成し、情報公開に努めます。	情報提供の充実及び情報の共有化が図られます。	町勢要覧 平成26作成 (町報は毎月発行)	平成26年度 広報やず (毎月発行) 町勢要覧 H26作成 平成27年度 広報やず (毎月発行) 平成28年度 広報やず (毎月発行) 平成29年度 広報やず (毎月発行)	町の情報を、幅広い世代に分かりやすく伝える広報誌の発行に努めている。	町勢要覧 平成26作成 資料編は必要に応じて随時改定	企画課
	CATV加入促進	情報提供の拡大(CATV加入促進)を図ります。		平成25年度末 27% 26年度末 30% 27年度末 32% 28年度末 34% 29年度末 35%	平成26年度末 29.5% 平成27年度末 31.5% 平成28年度末 33.6% 平成29年度末 35.5%	新規加入キャンペーンを実施し、CATVの加入促進を図った。	加入率 35%	企画課
	ホームページ・CATVデータ放送の充実	情報提供の拡大(ホームページ・CATVデータ放送の充実)を図ります。	ホームページを閲覧される方々に、新しい情報を幅広く提供し、情報の充実が図られます。	HP発信数 平成25年度 5件/週 26年度 15件/週 27年度 20件/週 28年度 20件/週 29年度 20件/週	平成26年度 15件/週 平成27年度 16件/週 平成28年度 18件/週 平成29年度 28件/週	情報提供の拡大(ホームページの充実)を図っている。	ホームページ情報発信の充実	企画課

5.ともに歩むまちづくり（町民・協働・財政）

○町民と行政との情報の共有化を図り、協働によるまちづくりに努めます。

○広報を充実し、積極的な情報公開に努めます。

○町民に分かりやすい行政運営と行財政改革に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び年次目標（ ）は年あたり	実績	平成29年度取組状況及び課題等	到達目標(平成30年3月)	担当課
行財政改革	指定管理者制度の拡大	指定管理者制度を拡大します。	民間活力の導入により経費が節減されます。	平成25年度末 8箇所 26年度末 9箇所(1) 27年度末 9箇所(0) 28年度末 9箇所(0) 29年度末 10箇所(1)	平成26年度末 9箇所 平成27年度末 10箇所 平成28年度末 10箇所 平成29年度末 10箇所	平成29年度末で指定期間が終了する6施設の今後の取扱いについて検討、選定を行った。新たな施設について協議・検討を進めていく。	指定管理者制度の導入拡大10箇所	総務課
	民間活力の導入	民間活力の導入により事務事業を委託し、効率的な行財政運営を行います。	より効率的な行政運営を推進することができます。	調査研究	平成26年度 調査研究 平成27年度 社協委託 平成28年度 社協委託 平成29年度 社協等委託	各事務事業を民間委託するとともに、平成29年度は『隼Lab.』を立ち上げ、旧隼小学校校舎等を(株)シーセブンハヤブサへ無償貸付し管理委託した。今後も調査研究を行い導入を推進する。	事務の部門委託、施設の委託について調査研究を継続的に行う。	総務課
	行政改革の推進	事務事業の見直し及び組織改革を行ったうえで、定員の適正化を図ります。(定員適正化計画の推進)	効率的な行政サービスの提供及び適正な財政運営が推進できます。	(4月1日現在計画値) 平成25年度 251人 26年度 246人 27年度 239人 28年度 231人 29年度 228人	平成26年度 243人 平成27年度 233人 平成28年度 224人 平成29年度 221人	第3次定員適正化計画の進捗管理を行い、採用者数等のバランスを図りながら計画的に実施していく。 平成29年度時点においては、計画値より7人上回っている。	定員適正化計画(H30年4月1日226人)	総務課
		交付税削減対策のため、具体的な歳出削減目標を掲げ、取り組みを進めます。また、町民への情報提供を行います。	交付税減額を見据え、効率的な財政運営が推進できます。	平成25年度 検討 26年度 実施 27年度 実施 28年度 実施 29年度 実施	平成26年度 実施 平成27年度 実施 平成28年度 実施 平成29年度 実施	納税奨励金を平成29年度から廃止した。 部落解放同盟への運営補助金については、計画どおり縮小を実施した。 また、地域改善施設等補助金(嵩上げ分)・進学奨励金(高校分)については、平成29年度から廃止した。	交付税の漸減に見合った歳出の抑制を行う。	総務課

5.ともに歩むまちづくり (町民・協働・財政)

○町民と行政との情報の共有化を図り、協働によるまちづくりに努めます。

○広報を充実し、積極的な情報公開に努めます。

○町民に分かりやすい行政運営と行財政改革に努めます。

項目	施策	事業内容	効果	平成25年度実績及び年次目標 ()は年あたり	実績	平成29年度取組状況及び課題等	到達目標 (平成30年3月)	担当課
		行政改革推進本部提言事項を実施します。	スリムで効率的な自治行政の確立により無駄のない行政運営が実施できます。	平成25年度 実施 26年度 実施 27年度 見直し 28年度 第3次計画の推進実行 29年度 実施	平成26年度 実施 平成27年度 見直し実施 (第3次大綱・プラン策定) 平成28年度 実施 平成29年度 実施	前年実績のまとめを公表し、第3次行政改革プラン(平成28年度～平成32年度)の推進実施。	平成28年度第3次行政改革大綱策定により、交付税減額を見据えた、効率的な行財政運営の確立	総務課
行財政改革	地籍調査の推進	4班体制での地籍調査の実施を継続します。	民間活力の導入による効率的な調査が実施できます。	平成25年度末 39.0% 26年度末 42.0% 27年度末 44.7% 28年度末 47.3% 29年度末 50.3%	平成26年度末 42.72% 平成27年度末 45.80% 平成28年度末 48.37% 平成29年度末 52.30%	計画に基づき、地籍調査を推進した。安全対策をより充実させて調査を実施した。	町内全地域(地籍対象面積182.56ha)のうち91.83ha、50.3%を実施	地籍調査課
	八頭町公共施設白書の作成	八頭町公共施設白書の作成を行います。	公共施設の実態を把握し、今後の公共施設の在り方の検討に活かすことができます。	平成26年度 調査 27年度 作成	平成26年度 調査 平成27年度 作成	平成27年度に作成済。	平成27年度中には、公共施設の白書を作成します。	総務課
	公共施設の在り方検討	統合により、使用しなくなった小中学校、保育所等を有効に利用するため、調査検討を行います。	民間活用などにより、空き施設が有効にできます。	平成26年度 検討 27年度 一部実施 28年度 一部実施 29年度 一部実施	平成26年度 一部実施 平成27年度 一部実施 平成28年度 一部実施 平成29年度 一部実施	旧大江へき地保育所を改修し、福祉施設として利用開始。空き校舎となった集小学校を改修し、「集Lab.」として企業への貸オフィスや地域活動の拠点として利用開始。同じく空き校舎となった大江小学校についても活用を検討している民間企業等と継続して協議を行っている。	遅くとも、平成30年度中には、利用方法等検討し、実施します。	総務課
		八頭町内に存在する類似施設の状態を調査し、今後の利用等について検討します。	維持管理等の軽減が図られます。	平成26年度 調査 27年度 調査 28年度 検討 29年度 検討	平成26年度 調査 平成27年度 基礎調査 平成28年度 検討委員会開催 平成29年度 検討	計画に基づき、適正配置について検討を行ったが、具体的な利用については継続検討となっている。	遅くとも平成29年度中には、検討結果をまとめます。	総務課